

## Call for Paper

「情報社会のデザインシンポジウム 2006」論文募集

### ★テーマ

ユビキタス環境がもたらす未来図

### ★概要

現代の情報社会の問題のひとつは、依然として情報機器が人間の生活から遊離していることにあると考えられます。それに対する回答として、現在進められている、人の生活を見守り、やさしく支援する知的ユビキタス環境や、社会への情報化支援に関する研究発表を幅広く募集致します。2006年11月のMVE研究会は、「情報社会のデザインシンポジウム2006(全体テーマ:『崖っぷちの情報システムをどう救うか?』)」の中で開催されますので、技術的提案はもちろん、システム全体の構築事例の紹介、社会との親和性における技術サイドからの考察など、様々な観点からの御発表を歓迎致します。皆様のご応募をお待ちしております。

情報社会のデザインシンポジウム 2006 ウェブサイト

<http://www.ai.soc.i.kyoto-u.ac.jp/infosociety2006/>

### ★申込方法

講演希望の方は、通常の研究会発表申し込みどおり MVE 研究会発表申込サイトから登録をお願い致します。申込締切は 9/22 を予定しています。

申込締め切りは 9/15 に変更になりました。

MVE研究会ウェブサイト

<http://www.ieice.org/~mve/>

### ★備考

なお、「情報社会のデザインシンポジウム」では同地にて下記の研究会も同時開催され、聴講はいずれも無料です（予稿集は別途有料）。特別講演も予定されています。詳細は <http://www.infosociety.jp> をご覧ください。

- ・ 情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究委員会
- ・ 情報処理学会 デジタルドキュメント研究委員会
- ・ 電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究専門委員会
- ・ 電子情報通信学会 異文化コラボレーション時限研究専門委員会
- ・ 人工知能学会 社会における AI 研究会